

山口県赤十字大会 2015 大会宣言

山口県では、災害への対応や各種の講習会、JRC やボランティアの活動など赤十字の活動は、順調に進んでいるように思えます。しかし、一方で気になることもあります。

私たちの周りでは、徐々に人と人のつながりが薄くなり弱くなり、他人のこと、世の中のことに関心を持たない人が増えているのではないかということです。そうした中、誰かの声掛けを待ち、救いを求めている人はきっといるはずです。

私たちは、大学の中で学生奉仕団として、献血の推進や HIV の予防啓発など、赤十字の活動に日々取り組んでいます。これからも決して無関心に陥ることなく、常に想像力を持って、人道の実現のための取り組みを進め、若年層の中に一人でも多くの仲間をつくれるよう拡げていきたいと考えています。

私たちの周りでも、人口減少や高齢化が進んでいく中、地域はこの先どうなっていくのだろうという声が聞こえます。医療や介護、血液事業などの赤十字の仕事は、時代や環境の変化に合わせ、人道的ニーズに対応してその中身を次第に変えていくのですが、私たち地域で活動する赤十字奉仕団も、家庭や地域にあって、地域で活動しているからこそ、できることがあるのではと考えています。地域で暮らし続けるための支え合いや助け合いもその一つです。

私たちはこれからも、日赤の様々な人道的な事業を地域の人々に伝え、地域に密着した奉仕活動を続けていきたいと考えています。

身近なところで進める日々の活動が、世界の人道的な輪につながり発展することを祈りながら、皆で一緒になって取り組んでいきます。

それでは大会宣言です。

私たちは、本日、周南のこの地に集い、赤十字の人道・博愛の精神のもと、一人ひとりが地域や社会の様々なニーズに目を向け、未来につなぐ赤十字社員や活動資金の確保に取り組むと共に、苦しんでいる人を救うための、人間のいのちと健康、尊厳を守るための活動を続けていくことを宣言します。

平成 27 年 12 月 13 日

山口県赤十字大会 2015

山口県赤十字奉仕団副委員長 井上美代子

山口県青年・学生奉仕団委員長 深山慶一